

地域の資源を活かし、育み、「水」「土」「里」の未来を拓く

秋田の山

あきたのとちがいりょう

土地改良



イメージキャラクター
みどりちゃん

VOL. 536

2025
7.25 [Fri]



撮影場所：雲昌寺（男鹿市北浦） 撮影：水土里ネット秋田 政策・広報班

目次

CONTENTS

農業農村整備の集い	2	水土里のゴミゼロ活動報告	10
令和8年度予算(別枠含む)確保に向けた要請活動	3	スキルアップ研修会	12
所有者不明土地管理制度等の活用に必要な経費の一部を助成	3	子ども絵画展2025	12
秋田県農地集団化推進協議会 第65回通常総会	4	令和7年度秋田県土地改良事業推進大会	12
雄物・米代川地域広域基盤確立推進協議会 第21回通常総会	4	第148回秋田県種苗交換会「農業農村整備フェア」を開催します!	12
秋田県土地改良事業団体職員会「第65回通常総会」	5	随想(湯沢雄勝土地改良区:財務会計主査 金子 友香理)	13
土地連OB会定例会	5	連合会日誌	13
令和7年度男女共同参画推進社会づくり功労者内閣総理大臣表彰	6	全国土地改良大会佐賀大会開催	13
令和7年度全国水土里ネット女性の会研修会& 都道府県水土里ネット女性理事意見交換会	6	水土里レポーターによる写真投稿(にかほ市土地改良区:事業係長(兼)会計主任 兼松 真也)	14
あきた水土里ネット女性の会 令和7年度通常総会・女性セミナー	7	会員だより	14
女性理事リレーインタビュー	8	リレー感想文	14
		編集後記	14

農業農村整備の集い

農を守り、地方を創る予算の確保に向けて

6月18日(水)砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」で、土地改良事業の計画的な推進のための安定的な予算と食料安全保障の確保、農業・農村の発展に向けた『農業農村整備の集い』が開催され、全国から土地改良関係者など約1,200名(出席国会議員含む)が参加した。

二階俊博全土連会長が挨拶を述べたあと、ご臨席の小泉進次郎農林水産大臣、滝波宏文農林水産副大臣、森山裕自民党幹事長、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子参議院議員からの力強いご祝辞をいただくとともに、多くの国会議員の皆様駆け付けていただいた。

要請文提案・採択、宮崎雅夫参議院議員による情勢報告が行われ、最後におおもり水土里ネット女性の会山崎順子会長による「ガンバロウ三唱」で閉会した。



▲二階俊博全土連会長



▲小泉進次郎農林水産大臣



▲進藤金日子参議院議員



▲宮崎雅夫参議院議員



▲会場の様子



▲ガンバロウ三唱

令和8年度予算(別枠含む)確保に向けた要請活動

東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会

6月19日(木)、東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会(会長:高橋隆水土里ネットいわて会長)は、小野寺五典自民党政務調査会長、鈴木俊一自民党総務会長、庄子賢一農林水産大臣政務官、鈴木憲和復興副大臣、大沢元一財務省主計局主査に対し、①新たな食料・農業・農村基本計画の実現に向けた農業農村整備関連予算の確保、②農業・農村地域の国土強靱化に向けた支援、③近年の大規模災害からの復旧・復興に係る支援、④土地改良区の運営体制等の強化に向けた支援、⑤東日本大震災関係予算の確保 などについて要請・要望を行った。なお、本会からは中田謙三副会長が要請活動へ参加した。



▲ 鈴木自民党総務会長



▲ 小野寺自民党政務調査会長

令和7年9月1日より

所有者不明土地管理制度等の活用にあつては経費の一部を助成!

ほ場整備事業等の事業施行区域内に存する所有者不明等の農地の解消に向けて、関係土地改良区が所有者不明土地管理制度等を活用する場合に、本会では必要となる経費の一部を助成し、土地改良事業の適正かつ円滑な実施を支援します。

助成金の概要 ◎助成金の交付要綱、申請書様式等は、本会ホームページの会員サイトに掲載しています。

○助成金の対象となる主な制度は次のとおりです。

- ・不在者財産管理制度
- ・所有者不明土地管理制度
- ・所在等不明共有者の持分の取得,譲渡制度
- ・相続財産清算制度 等

○助成金の交付対象となる経費は次のとおりです。

- ・所有者不明等の農地に係る調査費用として司法書士等に支払う報酬
- ・助成金対象制度の活用のために裁判所に提出する申立書類等の作成経費として司法書士等に支払う報酬
- ・助成金対象制度の活用に伴い裁判所に納付する予納金等

○助成金は、助成金対象制度を活用する土地改良区に交付します。

○助成額は、助成金対象経費の1/2以内で、一事案につき50万円が上限となります。

※詳細については、次の担当までお問い合わせください。担当：総務企画部会員支援室 Tel018-888-2712

秋田県農地集団化推進協議会 第65回通常総会を開催



▲総会の様子

6月27日(金)、パーティーギャラリーイヤタカ(秋田市)において、秋田県農地集団化推進協議会(判田勝補会長)の第65回通常総会が秋田県農林水産部大石勝次長(代理 秋田県農林水産部 農地整備課 小倉健一郎政策監)ほか来賓を迎え開催された。

議事に先立ち、令和7年度農地集団化事業優良団体表彰が行われ、今年度は5団体8区が受賞となった。議事では判田会長が議長を務め、令和6年度事業報告と収支決算報告並びに令和7年度事業計画と収支予算等の審議

が行われ、提出議案はすべて原案のとおり承認、可決となった。

また、議事終了後研修会を開催し、元農林水産省職員の川邊隼之介様より、「農政のこれまでとこれから～私が経験してきた霞ヶ関とベルリン～」について講演をしていただいた。

【令和7年度農地集団化事業優良団体表彰】

- 北秋田市土地改良区(堂ヶ岱地区・高野尻地区・大沢地区)
- 男鹿市五里合土地改良区(五里合地区)
- 仁井田堰土地改良区(十八石堰地区)
- 秋田県西仙北土地改良区(六合地区)
- 秋田県雄物川筋土地改良区(平鹿高口地区・下福田地区)

集合写真▶



雄物・米代川地域広域基盤確立推進協議会

第21回通常総会を開催

7月4日(金)、パーティーギャラリーイヤタカ(秋田市)において、雄物・米代川地域広域基盤確立推進協議会(伊藤総会長)の第21回通常総会が開催された。

議事では、伊藤会長が議長を務め、令和6年度事業経過報告及び収支決算、令和7年度事業計画及び収支予算および役員を選任について審議が行われ、提出議案は全て承認、可決された。新たに選任された役員の方々については以下のとおりとなる。

【任期：令和7年度総会～令和9年度総会】

- | | | |
|------|-------|--------------------|
| 会 長： | 伊藤 稔 | (秋田県仙北平野土地改良区 理事長) |
| 副会長： | 今野 諭 | (大潟土地改良区 理事長) |
| | 吉田 誠 | (秋田県能代地区土地改良区 理事長) |
| 監 事： | 田中 靖 | (三種町土地改良区 理事長) |
| | 中田 謙三 | (男鹿市土地改良区 理事長) |
| | 柿崎 幹夫 | (秋田県雄物川筋土地改良区 理事長) |
| 顧 問： | 高貝 久遠 | (秋田県田沢疏水土地改良区 理事長) |

総会終了後、研修会が開催され、東北農政局西奥羽土地改良調査管理事務所の渡辺英樹所長より「改正土地改良法及び事業制度の概要等について」と題してご講演いただいた後、県内国営事業所(5箇所)から管内の事業状況について報告があった。



▲挨拶をする伊藤会長



▲講演する渡辺所長



▲議事の様子

秋田県土地改良事業団体職員会「第65回通常総会」を開催



▲ 伊藤会長



▲ 集合写真

6月26日(木)秋田県ゆとり生活創造センター遊学舎にて、秋田県土地改良事業団体職員会(伊藤清栄会長)第65回通常総会が開催された。

総会は、伊藤会長の挨拶に続き、優良会員表彰、来賓の秋田県農林水産部 大石勝次長、秋田県土地改良事業団体連合会 舩谷雅広専務理事の祝辞が行われた。また、議事では、議長に菊地玲子氏(峰浜土地改良区)を選任し、令和6年度会計収支決算、令和7年度収支予算等の審議が行われ、提出議案は全て承認、可決された。総会後の情報提供として、元農林水産省職員で現在秋田県議会議員である川邊隼之介様から「農林水産省職員の一生～土地改良から輸出まで、広すぎたフィールド～」と題して情報提供がなされた。

【優良会員表彰】

大森 由之 (新城川土地改良区)
田口 俊明 (秋田県仙北平野土地改良区)
佐々木 結美子 (秋田県雄物川筋土地改良区)
齊藤 一起 (秋田県雄物川筋土地改良区)
※敬称略

土地連OB会定例会が開催される

7月11日(金)、土地連OB会(水戸憲光会長)の定例会がANAクラウンプラザホテル秋田(秋田市)において開催された。26年目を迎える定例会では会員50名参加の下、令和6年度の事業報告および収支決算、令和7年度の事業計画及び収支予算等について審議され、提出議案は全て承認、可決された。

総会終了後には、現役管理職も参加し懇親会が開催され、昔話に花が咲いた。



令和7年度 男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰

この度、かづの土地改良区事務局長の根本由紀子さん（あきた水土里ネット女性の会 会長）が「令和7年度男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」を受賞されました。

根本さんは、未だ男性の多い土地改良の現場において、事務局のトップとして活躍されていることや、令和元年に設立された「あきた水土里ネット女性の会」で初代会長を務められているほか、令和4年からは「全国水土里ネット女性の会」会長（任期2年）を務められるなど、土地改良分野で女性参画に尽力された功績が認められ、彰式が行われたほか、7月14日（月）には、鈴木健太秋田県知事へ受賞報告を行いました。

この度の栄えある受賞、誠にありがとうございます。今後もますます農業農村の発展や女性参画推進のためご活躍されますことをご祈念申し上げます。



▲左から石破総理大臣、根本事務局長 ▲左から坂本副会長、鈴木知事、根本会長、佐藤副会長、菊池副会長

令和7年度全国水土里ネット女性の会研修会& 都道府県水土里ネット女性理事意見交換会の開催

令和7年6月17日（火）～18日（水）、東京都において「食料安全保障の確保に土地改良区ができること～米問題を考える～」と題して、標記研修会が開催され、全国から関係者175名が集まりました。秋田県からは、女性の会から4名（うち改良区女性理事1名）、事務局から2名の計6名が参加しました。

2日間にわたり、基調講演、会場セッション・質疑応答、農業農村整備の活動報告、ブロック代表理事等からの現状・課題の報告、グループ討論が行われました。

今回、全国の関係者の方々と交流ができ、各県の現状を知ることや改めて土地改良分野における女性活躍の大切さ、重要性を実感しました。今後も今回築き上げたネットワークを大切に、あきた水土里ネット女性の会も一歩ずつステップアップができるよう日々の活動に邁進したいと思います。



▲研修会の様子



▲西会長挨拶

あきた水土里ネット女性の会 令和7年度通常総会・女性セミナーの 開催について



▲根本会長(あきた水土里ネット女性の会)
祝辞を頂戴した。

令和7年7月16日(水)秋田市「遊学舎」において、あきた水土里ネット女性の会 令和7年度通常総会・女性セミナーが会員約60名の下、開催された。

総会では、根本会長の挨拶に続き、秋田県農林水産部 大石勝次長、秋田県土地改良事業団体連合会 松田 知己会長よりご

議事では、令和6年度会計収支決算、令和7年度会計収支予算等の議案審議が行われ、提出議案は全て承認、可決された。

総会終了後、令和7年度女性セミナーが開催され「先進的取組への課題や成果について」と題して、あおもり水土里ネット女性の会 山崎 順子会長(田子町土地改良区 事務局長、青森県土地連 理事)、あおもり水土里ネット女性の会 事務局 亀田 由佳子氏(青森県土地連 総務管理部 サブリーダー)よりご講演いただいた。



▲山崎会長(あおもり水土里ネット女性の会)

講演の中では、山崎会長より、あおもり水土里ネット女性の会がこれまで取り組まれた活動や女性の会設立前後の変化、これからの展望など詳しくお話しを聞くことができた。特に「支部ミーティング」の活動紹介では、今年度より秋田県でも実施する「ブロック別活動」に精通するものがあり、大変参考となるお話しを



▲亀田氏(あおもり水土里ネット女性の会)

伺うことができた。また、亀田氏からは、女性の会事務局としてのこれまでの経験を通して、女性の会だからといって女性だけではなく、男性も女性もみんなで取り組むことが大切であるなど、ご自身の中での「気付き」や「心の変化」についてお話を伺い、今後の「女性の会」の活動について改めて考える機会となった。

講演終了後、会員からは「活動のアイデアは、どのような形で出されるのか」や「会長を務める中で1番嬉しかったことや苦労したことは何か」など多数の質問があり、今までにないほど活発な意見交換となった。



▲総会の様子

今回は、近隣県である青森県での実際の活動事例など伺い、このような場合は、こんなやり方もあるのかと気付かされ、とても良い刺激をいただいた。今後も「あおもり水土里ネット女性の会」と情報交換をしながら共に発展していきたい。

新城川土地改良区に 女性理事2名が登用されました!



新城川土地改良区に令和6年7月から女性の員外理事が登用され、県、土地連、土地改良区で構成されている男女共同参画推進チームでインタビューをさせていただきました。

新城川土地改良区

- 住所 秋田市下新城中野字琵琶沼188-15
- 面積 2,478ha
- 組合員 1,653人
- 理事 13人 (うち女性2人)
- 監事 3人



左から柴田理事、保坂理事長、佐藤理事



さとう たえこ
佐藤 妙子さん

- ・高校卒業後、農業に従事
- ・元 県農業近代化ゼミナール副会長、元 同東北連副会長
- ・現 追分幼稚園評議委員



しばた しょうこ
柴田 昭子さん

- ・現 建築関係会社勤務 (25年) 主に労務管理。
- ・H25年より秋田県男女共同参画推進員
- ・R6年度まで潟上市男女共同参画審議会委員、現 潟上市ハートフル実行委員会委員(元委員長)

Q.1

土地改良区について今までどのようなイメージを持っていましたか。

佐藤さん： 田んぼに水を流すために水門を開ける作業や賦課金の徴収作業を行っている仕事だと思っていました。また、基盤整備事業も土地改良区で携わっており、大変だなと思いました。

柴田さん： 生家が三代に渡って農家だったので、祖父や父の話し合いから何となく「田んぼの水を調整する機関」というくらいしかわかりませんでした。

Q.2

土地改良区の理事になってほしいと依頼があった際の率直なお気持ちをお聞かせ下さい。

佐藤さん： 地元の理事さんより何回も誘いがあり、熱意の強さに引き受けることにしました。

柴田さん： 潟上市の農業委員会会長さんから依頼がありましたが、初めは困惑しましたが、私自身が男女共同参画推進員でもあることから「まずはやってみる」という気持ちになりました。



左から柴田理事、安養寺事務局長、佐藤理事

Q.3

これから理事としての抱負や決意などをお聞かせください。

佐藤さん： 女性が入って良かったと思われるように理事長及び理事に相談しながら地域のために頑張りたいと思います。

柴田さん： まずは「土地改良区の業務内容を理解する」ということです。多様な意見を取り入れて土地改良区が男女とも「農業活躍の場」のセーフティとなり次世代へ繋ぐ事へ協力できたらと思っています。

保坂理事長よりひと言



女性理事が登用になり約一年が経過しましたが、理事会も新鮮味があり、和やかな雰囲気になっており、土地改良区に新風が吹いている状況です。

当初は、他の理事の発言などに理解できない面がありましたが、積極的に質問や意見を述べ、持ち前の女性パワーを發揮し、今では大分慣れてきていると思われます。

これからは女性ならではの視点で、組合員及び地域に根ざした活動と土地改良区の発展のために頑張っていたいだきたいと思ひます。

秋田県雄物川筋土地改良区に 女性理事2名が登用されました!



秋田県雄物川筋土地改良区に令和6年7月から女性の員外理事が登用され、県、土地連、土地改良区で構成されている男女共同参画推進チームでインタビューをさせていただきました。

秋田県雄物川筋土地改良区

■住所	横手市平鹿町醍醐字浅舞山13-74
■面積	10,499ha
■組合員	6,063人
■理事	14人(うち女性2人)
■監事	3人(うち1名員外監事)



左から柿沼理事、柿崎理事長、中村理事



かきぬま きわこ
柿沼 希和子さん

- ・平鹿郡大雄村田根森土地改良区へ事務補助員として入区
- ・平成22年に土地改良区合併により秋田県雄物川筋土地改良区財務課賦課徴収係
- ・平成28年に定年退職



なかむら まさこ
中村 正子さん

- ・高校を卒業後、測量設計事務所に3年間勤務
- ・平成26年より秋田ふるさと農協理事、令和2年より代表理事専務を3年間務め、その後、現在は非常勤理事。
- ・令和6年より子会社「株JAふるさと福祉会」の代表取締役社長に就任

Q.1

土地改良区について今までどのようなイメージを持っていましたか。

柿沼さん： 私は農村地帯で生まれ育ち、生家の隣が田根森土地改良区の事務所でしたので、とても身近な存在でした。

中村さん： 測量設計会社に勤務していた頃、土地改良事業の設計業務に携わっており、土地改良事業については少しですが理解していました。

Q.2

土地改良区の理事になってほしいと依頼があった際の率直なお気持ちをお聞かせ下さい。

柿沼さん： 青天の霹靂のひと言でした。土地改良区の職員として勤務していましたが、主に賦課徴収を担当していただけなのでとても不安でした。

中村さん： せっかく与えられている女性枠ですので、持続可能な農業のために微力ながら挑戦してみようと思いました。

Q.3

これから理事としての抱負や決意などをお聞かせください。

柿沼さん： 少しでも皆さんのお役に立つことが出来るようになりたいと思っています。気軽にいろんな意見、相談事を話しかけられる理事になりたいと思っています。

中村さん： 地域農業の持続的な発展のために土地改良区の業務は重要です。理事として知識を広め邁進してまいります。

柿崎理事長よりひと言



柿沼理事は土地改良の経験豊富な方ですし、中村理事は幅広い分野で深い知見をお持ちの方です。

理事会の中では庶務担当としていますが、まだまだ低いと思われる一般の方々への土地改良に対する認知度を上げるために知恵と力を奮ってもらいたいと思っています。

水土里のゴミゼロ 活動報告

「水土里のゴミゼロ活動」は、令和7年5月30日(金)全県8支部一斉に、それぞれ農業水利施設周辺の清掃、点検活動を行い、総勢233名が参加しました。以下に、各支部の活動実績を紹介します。

鹿角支部

かづの土地改良区
田端 純佳

実施日 令和7年5月30日(金)

対象施設名 鹿角市八幡平字小豆沢碓地内
水路、農道・一の渡頭首工

所在地 鹿角市八幡平字小豆沢碓地内

参加人数 16名

参加者の感想

ゴミはほぼ無く非常に管理が行き届いているように感じた。県、市からも参加頂き、地区の水利施設や農地の現状を間近に見て頂く良い機会になったように感じた。事業により新しく完成した頭首工も見学し、改めて維持管理の重要性を感じる活動となった。



大館・北秋田支部

北秋田市土地改良区
杉渕 友紀

実施日 令和7年5月30日(金)

対象施設名 鷹巣三堰幹線用水路及び
太田幹線用水路

所在地 北秋田市栄字太田地内

参加人数 22名

参加者の感想

当地区では毎年5月30日に合わせてゴミゼロ運動を実施しており、今回も地元の保全組織と協力して行いました。恒例行事でもあるため、ゴミは減少してきており、土地改良施設へ対しての地域の皆さんの意識の変化を感じています。この活動を継続し、ゴミがゼロになること期待しつつ、土地改良施設の重要性をPRしていきたいと思います。



山本支部

山本郡藤里町藤琴土地改良区
土佐 玲子

実施日 令和7年5月30日(金)

対象施設名 藤琴・大沢地区農道及び水路

所在地 町道藤琴(荒川)～大沢(豊田)地内

参加人数 16名

参加者の感想

今年は田植えが全般的に遅くなりましたが、それでも忙しい中16名の方々に参加して頂きました。普段でも交通量は少ないところなので、ポイ捨てのような目立ったゴミは少なかったように感じました。このあと6月下旬には道路の両側に毎年マリーゴールドを植えますので、ゴミゼロ活動の日だけではなく、普段から花の咲くゴミのない綺麗な状態を維持して行けたらと思います。



秋田支部

男鹿市土地改良区
和田 弘子

実施日 令和7年5月30日(金)

対象施設名 長沼ため池、長沼尻揚水機場

所在地 潟上市天王

参加人数 30名

参加者の感想

今年も新城川土地改良区の協力の下、ため池周辺の清掃活動を行いました。ため池周辺は散策コースになっているので、この日はゴミゼロの日ということもあり、他組織もゴミ拾いや草刈りなど行っていました。そのためゴミは少なかったですが、草刈り後の草集めやゴミ回収を手伝いすることが出来ました。5月30日がゴミゼロの日になっているのが地域の方々にも認識されているのを実感する日でした。



由利支部

にかほ市土地改良区
竹内 幸男

実施日 令和7年5月30日(金)

対象施設名 にかほ市土地改良区管内
「金浦温水路」

所在地 にかほ市大竹字上小森子地内

参加人数 17名

参加者の感想

今年は、にかほ市土地改良区管轄の「金浦温水路」沿いの清掃活動を行いました。道路沿いではありませんでしたが、ゴミは少なく、水利施設の環境保全に対する意識の向上が図られていると感じました。作業終了後には、小水力発電施設の視察研修を行い、有意義な時間を過ごせました。年に一度の活動ではありませんが、地道に続けることで不法投棄やポイ捨てをなくし、引き続き農村環境の維持保全に対する啓発に努めていきたいと思えます。



仙北支部

本会南事務所
武藤 進

実施日 令和7年5月30日(金)

対象施設名 秋田県協和土地改良区管轄の
協和小種泉沢溜池周辺

所在地 大仙市協和小種 地内

参加人数 48名

参加者の感想

今回初めて参加させていただき思ったのは、ゴミが少なく地元の方々の管理が隅々までいっしょに感じました。落ちていたゴミは、小さな子供が興味を持ったり、不用意に近づいて大怪我に繋がる原因となったり「他の人も捨ててるから捨てても大丈夫」と思ってしまい、小さい子供もその行動を見て真似してしまう事も十分にあるので、不法投棄防止の注意喚起と、ゴミゼロのような活動が最も大切だと感じました。これからも、地域の方々と協力していってみたいと思いました。



平鹿支部

秋田県雄物川筋土地改良区
高橋 学

実施日 令和7年5月30日(金)

対象施設名 田久保沼(秋田県南旭川水士土地改良区)

所在地 横手市婦気大堤地内

参加人数 58名

参加者の感想

関係機関のご協力のもと、多数のご参加をいただきゴミゼロ運動を行うことが出来ました。今回はふるさと村に隣接している田久保沼と、近接している大沼の外周をゴミゼロ運動の対象施設とし、ゴミ拾い(30kg程度)に取り組みました。今後もゴミの放棄をしないよう啓発活動を継続して行いたいと考えています。



雄勝支部

湯沢雄勝土地改良区
倉田 一治

実施日 令和7年5月30日(木)

対象施設名 足田ため池

所在地 雄勝郡羽後町足田字大西地内

参加人数 28名

参加者の感想

雄勝郡羽後町にある足田ため池は、アルカディア公園と一体となっている多目的施設でもあり、農村における景観形成にも大きく役立っていると思っています。この憩いの場であるため池に足を運ぶ人も多くいるため、きれいな環境が求められていることから、関係団体による啓蒙などもあり目立ったゴミは少なかったのですが、依然としてたばこの吸い殻や空き缶が捨てられていることから、この取り組みが多く地域住民の方々に周知され、将来にわたりゴミゼロの環境を作っていければと思います。



「私の推し活」!

湯沢雄勝土地改良区
 財務会計課主査 金子 友香理



ここ数年はスポーツ観戦が趣味で、そのうちの 하나가バレーボール観戦です。元々日本代表の試合はテレビでよく観ていたのですが、秋田開催の試合を観に行った事をきっかけにSVリーグにも注目するようになりました。SVリーグでは日本代表選手は勿論、海外の代表選手も各チームに所属しているのでプレーを観ることができるのが魅力です。少し前の話になりますが、GWにはチャンピオンシップファイナル、サントリーサンバース大阪対ジェイテクト STINGS 愛知の試合を観に行ってきました。選手達のアップする姿やオープニングの演出で試合前からテンションが上が



ります。私はジェイテクトを応援していましたが、この日は試合の序盤から怪我人が出たり、各々の調子が上がらずなかなか苦しい試合展開でした。それでも良いプレーをした時には観客が歓声をあげ、選手はもっと盛り上げるとばかりに観客を煽り、それに観客も応える。その光景は本当に最高でした。観客の応援合戦も見所の一つだと思っています。また、ストレス発散にもなります。結局ストリートでサントリーが前日に続き勝利したのでこの日で優勝が決まり、とても悔しかったのですが観に行けて良かったです。やはり現地観戦はたまらないです。シーズンオフの今は移籍情報に一喜一憂するのも終わり、日本代表の国際大会を配信で楽しんでいます。10月からシーズンは始まりますが、秋田開催の試合もあるのだから楽しみです!

連 合 会 日 誌

7月3日	令和7年度秋田県多面的機能支援協議会通常総会	秋田市「イヤタカ」
..... 今後の行事予定		
7月28日	秋田支部要請活動～29日	東京都「農林水産省、議員会館」
7月31日	山本支部要請活動～8月1日	東京都「農林水産省、議員会館」
8月20日	第2回正副会長会議	本会「役員室」
8月28日	第3回監事会、第2回理事会・役員会	本会「第1会議室」
9月3日	疏水フォーラムin広桃用水2025～4日	群馬県前橋市「グリーンドーム前橋」



第47回 全国土地改良大会
 佐賀大会

大会式典：令和7年10月15日(水)
 SAGAアリーナ





芸術を楽しむ喫茶店

水土里レポーター：にかほ市土地改良区
事業係長（兼）会計主任 兼松 真也

にかほ市象潟町内にあるRAMOカフェをご紹介します。店内に展示されている地元出身のクリエイターの作品を眺めながら、コーヒーや地元産のそば粉を使用した、そばプリン等の軽食を楽しめます。音楽教室や写真展等のイベントも開催しているようです。にかほ市を訪れた際には、ぜひお立ち寄り下さい。



会員だより

新理事長就任のお知らせ

次の方が新たに理事長に就任されました

○秋田市豊岩中央土地改良区（R7.5.4）

理事長 田口 州一

○秋田県南旭川水系土地改良区（R7.6.2）

理事長 黒澤 正巳

仮事務所への一時移転のお知らせ

○由利本荘市土地改良区（住所のみ変更）

〒018-0604

由利本荘市西目町沼田字新道下 2-535
（西目消防署 隣）



リレー 感想文 vol.42



文章を読むのが苦手な自分でも、毎号欠かさずに読ませて頂いております。秋田県内の各地域の取り組んでいる事業や行事、特産物、名店について知識を得ることができ、業務内だけでなく、日常生活でも役立てられています。これからも楽しみにしております。

総務企画部 南事務所 農村整備班

安田 晃大

編集 後記

今年度から総務企画部に配属されました、政策・広報班の田村月愛です。入会してからあっという間に4ヶ月が過ぎようとし、竿燈まつりのお囃子の音色に夏の訪れを感じる季節になりました。本格化する夏の暑さに不安を抱くと共にこれからやってくるお祭りや花火大会の数々に心を躍らせています。

さて、今回初めて記事を担当し、普段何気なく会報誌を目にしていたのですが、実際に携わったことで文章を考え読み手に伝える難しさや新たな気づきも多くなりました。これからも班員と協力し読みやすく、皆様に興味を持っていただける会報誌をお届けできるように努めてまいります。引き続きよろしく願いいたします。

（政策・広報班 田村）

